

< 研究課題名 > アトピー性皮膚炎患者の治療効果と指導の有用性評価

< 研究期間 > 倫理審査委員会承認日～2025年7月31日（2026年3月31日を研究終了の予定としています）

< 研究の概要 > アトピー性皮膚炎の治療は①薬物療法②外用療法・スキンケア③悪化因子の検索と対策が基本であり、薬物治療に加えてスキンケア指導やストレスなどの悪化因子の探索も治療の大きな柱となっています。生物学的製剤の登場などにより、アトピー性皮膚炎の治療の幅は広がっていますが、不適切なスキンケアはそれらの薬剤による治療効果を低下させることが知られ、患者さんに対する適切なスキンケア指導を含めた教育は治療において必須です。本研究では、アトピー性皮膚炎の薬物療法の有効性および、心理社会的側面に配慮したアプローチやスキンケア指導等の有用性を検討し、本疾患のより効果的な治療法や治療効果の評価法の確立に繋がりたいと考えています。

< 本研究で評価する項目 > 経時的な各種評価、検査項目、皮疹の重症度（EASI、IGAスコア、SCORAD）、BSA、臨床検査値、皮膚生理機能検査、心理社会的側面の評価（GHQ30、Skindex 16、DLQI、POEM、VASなど）、アンケート調査、経時的な臨床写真

< 対象となる患者さん > 藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科に通院するアトピー性皮膚炎の方  
なお、本研究に参加されなくても治療などへの影響はありません。

< 情報管理について責任者 > 本研究の責任者である藤田医科大学ばんだね病院 総合アレルギー科 矢上晶子

< 研究機関の名称並びに研究機関の長の氏名 >

藤田医科大学 学長 才藤栄一

< 研究責任者 > 藤田医科大学 医学部 総合アレルギー科 教授 矢上晶子

< 研究対象者及びその関係者からの相談窓口 >

藤田医科大学 医学部 総合アレルギー科 教授 矢上晶子

〒454-8509 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3丁目6番10号

電話：052-323-5671

[https://bantane.fujita-hu.ac.jp/department/overall\\_allergy.html](https://bantane.fujita-hu.ac.jp/department/overall_allergy.html)